

2025 年度 看護実践能力習熟段階（ラダー）新人の研修目標・内容

<研修目的>

看護実践能力習熟段階（ラダー）新人の到達目標が達成できるよう、必要な知識・技術・態度を学ぶことができる。

<レベルの定義>

1. 必要に応じ助言を得て実践する

時期	目標	内容
新人看護 職員研修 I 4/4(金) 4/7(月) 4/11(金) <3 日間>	<新人看護職員教育> ・プリセプターシップ、支援体制を理解することができる ・新人教育計画を理解し自己の成長と目標をイメージすることができる ・社会人基礎力の必要性が理解出来る <感染管理 I > ・看護場面での感染防止の必要性と方法を理解する事ができる <防火・防災 I > ・施設内の設備・避難経路を知ることができる <看護師の責任 I（倫理的・法的責任・公務員倫理）> ・看護専門職としての責任を理解することができる（アカウンタビリティ、専門性の開発能力） ・関連する法律について理解する事ができる <看護師の責任 II（組織の一員としての責任）> ・組織の一員として、自身の役割や能力に応じた看護実践について理解する事ができる <検体の取り扱い> ・検体に関する基礎知識を学ぶことができる	講義、演習、グループワーク <新人看護職員教育> ・病院看護部理念・看護実践能力習熟段階（ラダー） ・新人研修教育計画・プリセプターシップ・個人目標ファイル、ポートレートファイルの活用方法など ・組織から求められている社会人基礎力 <感染管理 I > ・手指衛生・PPE 着脱など <防火・防災 I > ・施設内の消火設備と避難経路・連絡体制など <看護師の責任 I > ・看護師としての責務と職業倫理に基づき、自らの判断や行為、行った事の結果への責任 ・保健師・助産師・看護師法など法令遵守が定められている行動は何かを認識し、法令やガイドライン、所属組織の規範に基づき看護実践を行う公務員倫理や事故や違反時の対応、SNS 使用時の注意点について ・自己の専門性の開発能力について <看護師の責任 II > ・チームの一員として報連相の必要性を理解し、その実践方法について ・新人看護職員が行う看護管理 <検体の取り扱い> ・採血管の種類と特徴・採血順の注意点など 講師は看護師が行う

	<看護基本技術> ～褥瘡予防・移乗移動・採血・点滴静脈注射～ ・当院の手順に沿って看護基本技術の知識や技術を確認することができる ・事例を通して、患者さんに必要なケアを考える事ができる	<褥瘡予防> ・排泄援助におけるオムツの適切な使用方法の演習 ・ポジショニング・褥瘡皮膚トラブル時の対処方法など ・フィジカルアセスメント事例検討 <移乗移動> ・移乗移動時の基礎知識と介助方法など <採血点滴> ・静脈注射の指針、法的責任について・採血・点滴静脈注射演習・アンプルの取り扱いなど
--	---	---

時期	目標	内容
新人看護職員研修Ⅱ 5/9(金) <1日>	<看護記録・共同看護計画Ⅰ> ・当院の基準・手順に沿って、看護記録の目的や方法を確認することができる <安全な看護Ⅰ> ・看護場面での安全管理の必要性と方法を理解することができる <一時的吸引> ・当院の手順に沿って、看護基本技術の知識・技術を確認することができる	講義、演習、グループワーク <看護記録・共同看護計画Ⅰ> ・看護記録の構成要素やフォーカスチャータリングについて ・看護記録の法的位置づけや、共同看護計画の考え方など <安全な看護Ⅰ> ・安全な看護における基礎知識と技術・確認行動の方法など <一時的吸引> ・一時的吸引の理解と実践
教育専従者面談	・職場適応状況を確認する ・リアリティショックの状況把握とOJTの進捗状況把握 ・不安悩みの表出 ・健康状態チェック	・年2～3回実施する(6月・11月・必要時)
新人看護職員研修Ⅲ 6/20(金) <午後研修>	<薬の知識Ⅰ> ・薬剤の基礎知識を学ぶことができる <3か月の振り返り> ・自己の3か月の実践を振り返り課題を明確にすることができる ・自身のウェルビーイングの向上を図る事が出来る	<薬の知識Ⅰ> ・点滴・内服薬に関する基礎知識など <3か月の振り返り> ・グループワーク・発表 ・メンタルヘルスケアについて

時期	目標	内容
新人看護 職員研修Ⅳ 7/11(金) <1日>	<摂食嚥下・NST・口腔ケア> ・当院の手順に沿って摂食嚥下・NST 口腔ケアの知識・技術を確認すること ができる <バイタルサインは何を示すか> ・バイタルサインの基本的知識・技術 を学ぶ ・バイタルサインや観察内容を報告で きる <CEと協働研修Ⅰ> ・生体情報モニターとパルスオキシ メーターについて ・フットポンプ装置の原理とアラー ム対応	講義、演習、グループワーク <摂食嚥下・NST・口腔ケア> ・摂食嚥下訓練に関する一連のフロー・NST・口腔 ケアに関する看護など ・摂食昨日訓練中の患者の事例検討 ・自身の口腔ケアの演習 <バイタルサインは何を示すか> ・バイタルサインの理解と実践 ・事例を使ってバイタルサインや観察内容をリー ダーへ SBAR を使って報告する <CEと協働研修Ⅰ> 電極装着・モニター入力・ストッキング装着・パッ ドの巻き方の講義と演習
新人看護 職員研修Ⅴ① 8/15(金) <1日>	<輸血療法の看護と血液製剤の基礎 知識> ・血液製剤の正しい知識と取り扱いを 学ぶことができる ・当院の手順に沿って、輸血療法の看 護に関わる知識・技術を確認するこ とができる <高齢者・認知症看護> ・高齢者、認知症について理解し、 高齢者、認知症看護を考えることが できる ・高齢者の特徴を理解し安全な看護を 考える事ができる <看護記録・共同看護計画Ⅱ・必要度 > ・当院の基準・手順に沿って看護記録 や共同看護計画、必要度を理解する 事ができる ・個別性のある看護計画について考え ることができる ・重症度、医療・看護必要度の目的・	講義、演習、グループワーク <輸血療法看護と血液製剤の基礎知識> ・オーダーから実施や後片付けまでの一連の流れの 演習・血液製剤の保管・取り扱い方など ・輸血の実施時と注意点・観察項目・副作用時の対 処など <高齢者・認知症看護> ・高齢者の特徴、認知症の理解と看護など ・高齢者や認知症患者の事例検討 ・認知症看護、身体拘束が認められる3つの条件な ど安全な看護の考え方や実践方法について <看護記録・共同看護計画Ⅱ・必要度> ・看護記録の法的位置づけや看護記録の構成要素 やフォーカスチャートニングについて復習し、 看護記録の実践 ・患者と共に立てる看護計画の理解と実践 ・看護必要度の意義と目的・看護必要度の評価方法 など

	評価方法について学ぶことができる	
新人看護 職員研修Ⅴ② 9/12(金) ＜1日＞	＜緊急時の看護＞ ・緊急時の患者の状態をアセスメントし優先順位を考え助言を受けて対応がすることができる ・SBARを用いた報告・連絡・相談ができる ＜安全な看護Ⅱ＞ ・看護場面での安全管理の必要性と方法を理解することができる ＜CEと協働研修Ⅱ＞ ・輸液ポンプやシリンジポンプの原理と取り扱いについて理解することができる ・酸素残量計、酸素ボンベ、酸素療法器具、酸素流量計の取り扱いについて理解することができる	講義、演習、グループワーク ＜緊急時の看護＞ ・急変時シミュレーション転倒・窒息・気管内挿管に必要な物品の理解と介助方法・バックバルブマスクの組み立てかた・救急カートの物品・SBARでの報告実践など ＜安全な看護Ⅱ＞ ・指示受け、与薬に関わる対策、確認行動など ＜CEと協働研修Ⅱ＞ ・輸液ポンプやシリンジポンプのセットの方法・アラーム対処の講義と演習 ・酸素流量計など酸素器具の取り扱いについて講義と演習

時期	目標	内容
新人看護 職員研修Ⅵ 10/10(金) ＜1日＞	＜メンバーシップ＞ ・メンバーシップを理解し、チームの一員として具体的な行動を考えることができる ・業務計画を立案し、時間管理をしながら働く必要性がわかる。 ＜感染管理Ⅱ＞ ・看護場面での感染防止の必要性と方法を理解することができる ・看護場面での感染防止の必要性と方法を理解することができる ＜6か月の振り返り＞ ・自己の6カ月の実践を振り返り課題を明確にすることができる	講義、演習、グループワーク ＜メンバーシップ＞ ・メンバーシップの基本・メンバーシップを発揮するための行動など ・チームの一員としての役割 ＜感染管理Ⅱ＞ ・カテーテル関連血流感染予防策や清潔、不潔の理解、滅菌物の取り扱い、その他の感染予防対策について ・感染予防策の基本・疾患別予防策（ノロ、インフルエンザ、COVID-19 など） ＜6ヶ月の振り返り＞ グループワーク・発表
新人看護 職員研修Ⅶ 11/14(金) ＜1日＞	＜薬の知識Ⅱ＞ ・ハイリスク薬剤の基本的知識を学ぶことができる ・術前・検査前に休薬する根拠 ＜地域包括ケアシステム＞ ・地域連携、他職種との協働について知ることができる ＜心不全、肺炎患者の事例検討＞ ・心不全や肺炎患者の事例検討を通し、必要な看護を考える事が出来る	講義、演習、グループワーク ＜薬の知識Ⅱ＞ ・ハイリスク薬・術前・検査前の休薬麻薬の取り扱い・薬とアレルギーなど ＜地域包括ケアシステム＞ ・地域包括ケアシステムを理解し、病院での他職種との連携を通して看護師の役割を学ぶ ＜心不全、肺炎患者の事例検討＞ ・心不全や肺炎の基礎知識講義とフィジカルアセスメントの事例検討
新人看護 職員研修Ⅷ 12/12(金) ＜1日＞	＜糖尿病看護＞ ・糖尿病を理解し基本的看護を学ぶことができる ＜がん化学療法看護＞ ・当院の手順に沿って、がん化学療法看護に関わる知識・技術を学ぶことができる	講義、演習、グループワーク ＜糖尿病看護の理解＞ ・療養指導、フットケア、糖尿病薬、インスリンの特徴、低血糖時の対処法など患者の観察や医師の指示を確認後、インスリン投与し片づけまでの一連の流れを演習する ・フィジカルアセスメントの事例検討 ＜がん化学療法看護＞ ・がん化学療法時の留意点や副作用時の対応などフィジカルアセスメント事例検討

	<安全な看護Ⅲ> ・安全な環境の整備に関する当院の現状を知る ・事故報告書を記入する目的を理解する事ができる ・医療安全推進活動について理解し、自己の行動を振り返り、課題を明確にすることができる	<安全な看護Ⅲ> ・医療安全推進室の役割と取り組み、当院の事故の傾向など ・事故の事例検討
時期	目標	内容
新人看護職員研修Ⅸ 2/13(金) <午後研修>	<死後のケア> ・当院の手順に沿って、エンゼルケアの知識・技術・態度を学ぶことができる <防火・防災Ⅱ> ・災害発生時の初期行動について考えることができる	講義、演習、グループワーク <死後のケア> ・死後のケアの基礎・死後のケアに携わる姿勢や態度など <防火・防災Ⅱ> ・災害発生時の初期行動・アクションカードについてなど
新人看護職員研修Ⅹ 3/13(月) <1日>	<看護体験を語る> ・自己の看護体験を振り返り、看護実践に意味付けができる <1年の振り返り> ・自己の1年の実践を振り返り、課題を明確にすることができる	グループワーク、発表 <看護体験を語る> ・自己の看護の振り返り <1年の振り返り> ・自己の成長の振り返り・次年度に向けての課題と取り組み

*看護管理・看護倫理組み込む